



トヨタ ヴィッツ

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1055/1056/1058/1121

シートカバー装着前に必ずお読み下さい

- ・本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）してお客様のシートパターンに合うことを確認して下さい。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何等かの支障があった場合はお買い上げ頂いたお店、または弊社までご連絡下さい。
事前に連絡なく装着された後での製品に対しての返品・交換等につきましてはお受け出来ません。お客様の注文間違いによつての製品間違いの返品・交換等は商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承下さい。
- ・本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取り付けを行うことで生地が伸び、シワは解消できますが、まれに跡が残る場合があります。予めご了承下さいますようお願いいたします。
- ・本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように作成していますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。



警告

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）。そこは他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。取り付け時には過度の力がかからないようご注意下さい。また、シートカバーを正しく取り付けないと衝突した時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

*サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全規格がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- ・本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- ・本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色が生じることがあります。また高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビの発生が生じることがあります。
- ・本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残ってしまう場合があります。装着されてから1~2週間ほどで臭いが緩和されてきますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間ほど保管してから装着して下さい。また本製品は塩化ビニルレザーを使用していますので燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で燃やさずに必ず各自自治体の処理方法に従って下さい。

パーツオーダーについて

- ・どうしても取れない汚れや破損に対して、当社では各部品単品での販売も承っております。但し、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承下さいますようお願いいたします。

生地別メンテナンス方法

- ・生地別メンテナンス方法を記載していますが、シートカバーが汚れてしまった場合はすぐに乾いた布などで拭き取って下さい。時間が経過してしまうと下に記載しているメンテナンス方法でも汚れが取れない恐れがあります。
* 本製品は水洗いやドライクリーニングなどの洗濯は出来ません。

PVCレザー部分

- ・中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に付けて拭き取って下さい。シンナー等の有機溶剤は生地を傷つけたり、ツヤがなくなる恐れがありますので使用しないで下さい。

本革・ECT革生地部分

- ・乾いた布等で表面を軽く拭いて下さい。または、市販されている本革クリーナーを目立ちにくい部分で試してからご使用下さい(中には合わないものもあります)。クリーナーをご使用後は乾いた布等で拭き残しのないように必ず拭き取って下さい。また、溶剤類のほか漂白剤は使用しないで下さい。

スエード・アルカンターラ生地部分

- ・40度程度のぬるま湯を布に染み込ませて固く絞り、全体を拭いて下さい。(毛羽が強くとれ乱れないように拭き取るのが大切です。)その後、シートが乾いたことを確認してからエチケツブラシで毛並を整えるようにブラッシングをして下さい。このお手入れは月一回くらいの頻度で行なうと効果的です。

シートカバー装着時に関する注意事項

- ・当社のシートカバーはフィッティングを重視して作っています。カバー全体に均一に力をかけて取り付けて下さい。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けてしまったり、切れてしまう恐れがあります。
- ・シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECT・アルカンターラセクション)の背もたれ上部分に加工しているヘッドレスト穴は、生地が伸びにくい為、無理に入れ込もうとすると破れてしまう恐れがあります。
- ・シート本体のパーツ(プラスチック部品やアームレスト等)を取り外す時に無理に外そうとするとシート本体に傷がついたり、パーツ自体が破損してしまう恐れがあります。
- ・シートカバーを取付けている最中にシート本体の金属部分やプラスチック部分に接触して怪我をする恐れがあります。
- ・取付説明書の順番にカバーを付けて頂くと取付作業がスムーズに進みますので当社では順番通りの装着をオススメしています。また、カバーを取り付ける際には明るくて、地面が平らな広いスペースで、車内のライト類を消して(長時間扉が開いているとバッテリーがあがったり、弱る原因になるため)取り付けを行なって下さい。
- ・当社シートカバーはフィッティングを重視して作っているため、カバーを一度取り付けた後、元に戻した際(カバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承下さい。
- ・製品の改良等により本取扱説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合がございます。その際はご迷惑おかけいたしますが弊社までお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



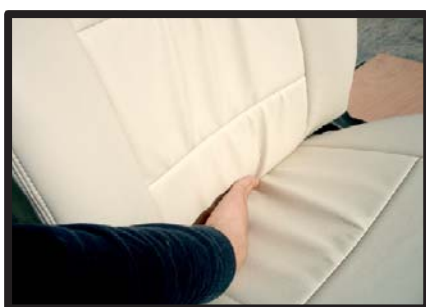
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはびを利用して横からもぐりこませるように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができれば、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①始めに、シート背面からシート裏にゴムで固定されている図の部分を外します。シート裏に生地が覆っている場合は、シートの裏と覆っている生地の隙間に手を通して外して下さい



④シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。
※助手席が買い物アシストシートの車は、プレートとシートの隙間に生地を入れ込んで下さい。



②カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



③カバー内側面の加工穴にシートベルトバックルを通します。



⑥シート背面から生地を引き出します。



⑦カバー外側面の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。ヘラなどを使用すると生地が入れ込みやすくなります。



⑧カバー内側面の生地裏の一番端と中央にマジックテープが付いています。中央のマジックテープはシート側面の、図の赤枠部分に直接貼り付けて固定します。



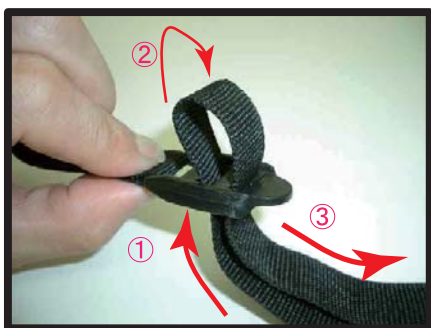
⑨カバー内側面の生地を、図の隙間に入れ込みます。カバーの端に付いているマジックテープを、直接シートの生地の端に貼り付けて固定します。



⑩カバー前方に付いているベルトを、シート裏を通して背面から引き出します。助手席側でシートアンダートレイが付いている車は、トレイのレールの上を通して、背面から引き出して下さい。



⑪シート背面から引き出したベルトを1ページ⑥で引き出した生地についているバックルと固定します。



⑫ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。

1 列目座面続き



⑬ベルトを固定した後、シート背面の生地を、マジックテープで直接シート本体に貼り付けて固定します。



⑭シート背面は図のようになります。



⑮シートのラインを整えて、1 列目運転席側座面の完成です。
助手席側は一部形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。

1 列目背もたれ(ヘッドレスト一体型)

※ヘッドレスト分離型の説明は5ページからご確認ください。



①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりかぶせて下さい。



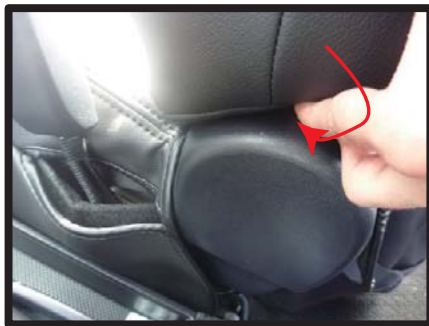
②1 ページ①で外した生地を矢印の方向へめくり上げて、背もたれカバーの中へ入れ込みます。



③シートのラインからずれないようにシート全体にカバーをかぶせます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます



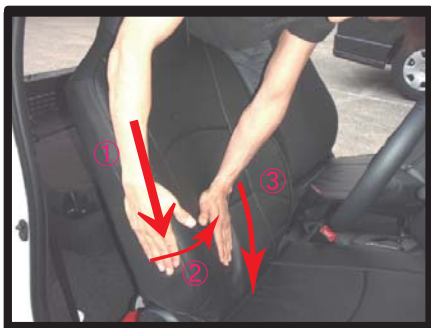
⑦シートの付け根部分のフチに生地を入れ込みます。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑧⑤で引き出した生地と、カバー背面下をマジックテープで固定します。



⑥図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から⑤の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返して、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



⑨カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。

※画像別車種

1列目背もたれ(ヘッドレスト一体型)続き



- ⑩ S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。生地でシート裏を覆っている場合は、覆っている生地の端からS字フックを引っかけて固定します。



- ⑪ シート背面下は図のようになります。



- ⑫ カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様の固定方法で取り付けます。

1列目背もたれ(ヘッドレスト分離型)

※アームレスト装備車は巻末の13ページ・14ページをご覧ください



- ① カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際肩口まで生地が張るように、しっかりかぶせて下さい。



- ② 1ページ①で外した生地を矢印の方向へめくり上げて、背もたれカバーの中へ入れ込みます。



- ③ シートのラインからずれないようにシート全体にカバーをかぶせます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦ヘッドレストの台座を取り出します。図のように台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑧生地伸びを利用して台座を取り出します。



⑥図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から⑤の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返して、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。

※画像別車種



⑨⑤で引き出した生地とカバー背面下を、マジックテープで固定します。

1列目背もたれ(ヘッドレスト分離型)続き



- ⑩カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

※5ページ⑩参照



- ⑪カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様の固定方法で取り付けます。



- ⑫RSグレードなどのスポーツシートも形状は異なりますが、同様に取り付けます。

2列目座面



- ①2列目座面はシートを車体から外してカバーの取り付けを行います。シートは真上に持ち上げることで留め具からツメが抜けて外れます。赤丸部分にツメと留め具があります。



- ②シートを持ち上げる位置は、矢印部分のツメがある位置です。矢印の位置に手を掛けて、上へ持ち上げると外れます。



- ③車体から出ているシートベルトバックルをシートから抜きます。



④外したシートは車外へ運び出すと作業が行いやすくなります。

※シートを運び出す際は十分注意して行って下さい。
カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



⑦シートベルトバックル収納部に生地を入れ込みます。



⑤シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑧シートを裏返して、カバーの前後でベルトを4本固定します。



⑥シートの赤丸部分にカバーの加工穴を通します。



⑨カバー側面からヒモが出ています。片方のヒモで図のように輪を作ります。

2列目座面続き



⑩作った輪にもう片方のヒモを通します。



⑪通したヒモを引き、座面下周りを絞り込み結び留めます。



⑫シートベルトバックル収納部の生地を引き出します。



⑬⑫で引き出した生地とカバー側面にゴムが付いています。ゴムは図の矢印の方向へ向けて引っ張り、S字フックでつなぎ留めます(3箇所)。



⑭カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
シートは背もたれカバーを取り付けた後で、元に戻します。



⑮シートを元に戻す際、シートベルトバックルを取り出す隙間が狭いため容易にシートベルトバックルを取り出せません。バックルの先が少しでもシートの裏から入れば、相方のベルトを差し込み、引っ張り出すことでシートベルトバックルを取り出しやすくなります。

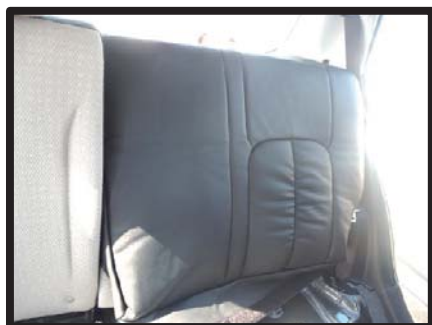
2列目背もたれ



- ①図は助手席側です。
カバー内側に付いているファスナーを、開けた状態にしておきます。カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



- ④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。この際シートの付け根部分を包み込むように生地を入れ込んで下さい。



- ②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- ⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- ③ヘッドレストの台座、シートの固定を解除する肩口のレバーを、カバーの加工穴から取り出します。



- ⑥引き出した生地とシート背面をマジックテープで固定します。

2列目背もたれ続き



⑦シート側面のファスナーを閉じます。
ファスナーは生地を内へ寄せながら
慎重に閉じて下さい。



⑩図のように仕上がります



⑧図のようにシート背面のロック部分
の周りを、マジックテープでシート
本体に直接固定します。



⑪シートのラインを整えて、2列目助
手席側背もたれの完成です。
運転席側も一部形状は異なりますが
同様の固定方法で取り付けます。

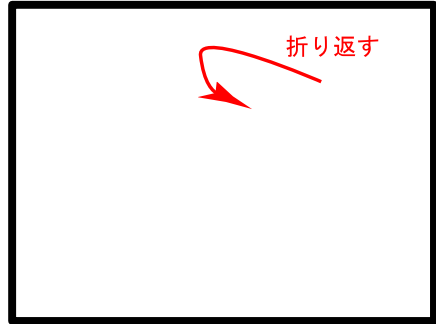


⑨シート背面のチャイルドシート固定
用バーのあるプラスチックのフチに
生地を入れ込みます。

ヘッドレスト



①カバーを半分程裏返して、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせませす。カバーは平らなプラスチックの板が付いているほうが前です。



④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み、固定します。



②ヘッドレストのラインからずれないように、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせませす。



⑤ヘッドレスト裏は図のようになります。



③ヘッドレスト裏でプラスチックフックを固定します。



⑥ヘッドレストをシートに戻して、カバーのラインを整えます。
1列目ヘッドレストの完成です。
2列目両サイドのヘッドレストも形状は異なりますが同様に取り付けませす。

運転席アームレスト装備車



⑦ 2列目ヘッドストは下から上へ持ち上げるようにかぶせます。
※図は別車種です。



① 運転席アームレスト装備車は背もたれカバーを装着する前に、アームレストをシートから外します。側面のキャップをヘラなどを使用して外し、中のボルトをソケットレンチなどを使用してアームレストを外します。(ソケット14mm)



⑧ ヘッドレスト裏の図です。両端のメス側のマジックテープの付いた生地を内へ寄せながら、オレンジの線で囲んだオス側のマジックテープを貼り付け固定して、1列目と同様にブラフックで固定します。



② 背もたれカバー装着後、アームレストにカバーをかぶせます。図のようにカバーを半分ほど裏返して、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



⑨ 2列目中央ヘッドレスとの裏側は図のようになります。ヘッドレストをシートに戻し、カバー13-掛けるようにかぶせます。一のラインを整えて完成です。



③ アームレストの内側のみカバーを引っ

掛けるようにかぶせます。

一のラインを整えて完成です。

完成図



④アームレストをシートに戻します。



フロントヘッドレスト一体型・1列目



⑤カバー外側の生地をアームレスト全体にかぶせて、生地を寄せながら慎重にファスナーを閉じます。



フロントヘッドレスト分離型・1列目

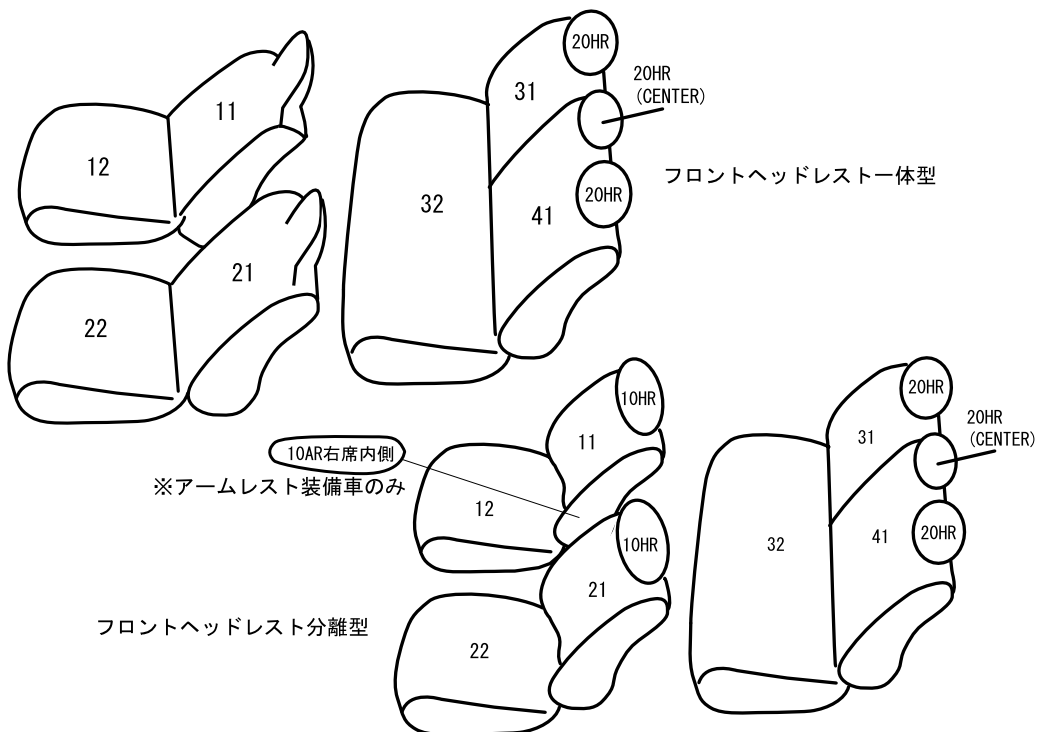


⑥カバーのラインを整えて完成です。

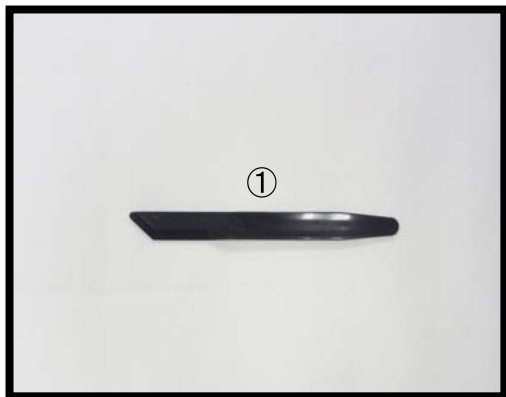


2列目

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

①ヘラ (付属)